

# 稲美町総合教育会議 会議録

(平成 30 年度第 1 回)

1 開催日時 平成 31 年 2 月 21 日 (木) 開会 13 時 30 分  
閉会 14 時 57 分

2 開催場所 稲美町役場 305 会議室

## 3 会議に付した事項

### 1. 開会

### 2. あいさつ

### 3. 協議・調整事項

- (1) 学校園空調設備設置事業について
- (2) 稲美町スポーツ推進計画(案)について
- (3) 自由討議

### 4. その他

- (1) 第 2 次稲美町教育振興基本計画(大綱)にかかる点検評価報告書について
- (2) 次回開催予定について

### 5. 閉会

## 4 構 成 員

稲 美 町 長		古 谷 博
稲美町教育委員会 教育長		松 尾 哲 子
稲美町教育委員会 教育長職務代理者		西 川 征志郎
稲美町教育委員会 教育委員		後 藤 哲 夫
稲美町教育委員会 教育委員		北 口 隆 男
稲美町教育委員会 教育委員		本 多 澄 子

## 5 事 務 局

経 営 政 策 部 長		藤 田 浩 之
-------------	--	---------

教育政策部長	松田典浩
教育政策部生涯学習担当部長	
兼文化の森課長	山本勝也
経営政策部企画課長	田口史洋
教育政策部教育課長	木村明宏
教育政策部学校教育担当課長	奥陽一
教育政策部管理担当課長	沼田弘
教育政策部人権教育課長	宇城万実
教育政策部生涯学習課長	永田純子

## 6 開 会

司会(藤田経営政策部長)

それではお揃いになりましたので、只今から平成 30 年度稲美町総合教育会議を開催いたします。

私は、本日の進行を務めさせていただきます経営政策部長の藤田でございます。

この会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 1 条の 4 により、地方公共団体の長が設ける会議でございます。本年度は今回の 1 回のみ開催の予定でございます。会議内容等の詳細につきましては、後ほどご説明いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

まず初めに、古谷町長からごあいさつをお願いいたします。

古谷町長

皆さま、こんにちは。本日はお忙しいところをお集まりいただきありがとうございます。平成 30 年度の「稲美町総合教育会議」の開催にあたりごあいさつ申し上げます。

各委員におかれましては、平素から稲美町の子どもたちの教育の充実・発展、また、学術・文化の振興のためにご尽力を賜っておりますことを、心から感謝申し上げます。

平成 27 年度から「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、私と教育委員会の皆さまが十分に意思疎通をし、密接に連携し地域の教育課題やあるべき姿を共有する場である総合教育会議を開催しております。本日の会議では、2 点の協議事項と自由討議の時間をとっております。皆さまの忌憚のないご意見をお聞きしたいと存じますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、20 日から議会も始まり、現在、平成 31 年度の予算・施策の審議が始まったところでございます。

平成 31 年度予算につきましては、本日配付いたしております「平成 30 年度稲美町総合教育会議資料」の 1 ページと 2 ページに「平成 31 年度稲美町主要施策体系表」をつけさせていただきます。教育委員会関係の施策としましては、2 ページの「人とひとの絆

を深め子どもの夢と志を育てるまち」の項目に掲載させていただいております。目玉とし  
ましては、「学校園空調設備設置事業」でございまして、子ども達が熱中症等を気にせず安  
心して学習ができるよう幼稚園及び小中学校の全ての普通教室などにエアコンを設置して  
まいります。3月議会で議決をして、早急に工事に入っていきたいと思っています。加古  
川を始め近隣の市町との良好な関係を保つための配慮をしつつ進めてきた事業が実施に至  
り、ほっとしております。また、「放課後児童クラブ管理運営事業」といたしまして、(仮  
称)天満第3放課後児童クラブを建設し、待機児童対策を実施してまいります。さらに、  
「天満幼稚園施設環境改善事業」におきましては、天満幼稚園での3歳児教育実施に向けて  
園舎増築に必要となる用地取得等を進めてまいります。

本日の議題は、先程お話させていただきました「学校園空調設備設置事業について」と  
平成30年度の主要施策であります「稲美町スポーツ推進計画(案)について」になってお  
ります。教育委員の皆様といろいろ議論を交わしながら、稲美町の教育の向上に努めてま  
いりたいと考えておりますので、よろしく願い申し上げます。以上、簡単ではございま  
すが、ご挨拶とさせていただきますと思います。

司会(藤田経営政策部長)

ありがとうございました。続きまして、松尾教育長、ごあいさつをお願いいたします。

松尾教育長

皆さん、こんにちは。私からもひとことご挨拶申し上げます。私の方からは現状報告を  
させていただきます。おかげさまで、平成30年度稲美北中学校大規模改造Ⅳ期工事、母  
里小学校のⅡ期工事も終わり、ますます教育環境が整ってまいりました。児童生徒の問題  
行動もさらに減少傾向にあり、どの幼小中学校共落ち着いた状況で年度末を迎えておりま  
す。

今年度からスタートした母里幼稚園と天満南幼稚園の3歳児教育も順調です。また、稲  
美北中学校でのコミュニティ・スクールもスタートしたばかりですが、昨日の研究発表会  
で1年間の取組の成果が発表されました。そして小学校では、地域コーディネーターを配  
置しての、地域・学校協働活動「いなみいきいきネット」も拡大し、学校、家庭、地域が  
連帯して、地域全体が子ども達の成長を支えています。今後も稲美町の教育の充実、発展  
に努めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

司会(藤田経営政策部長)

ありがとうございました。本日の会議の出席者は、別紙「平成30年度稲美町総合教育  
会議出席者名簿」のとおりでございます。会議の構成員は、町長と教育委員会委員の皆様  
で、事務局は企画課と教育課、人権教育課、生涯学習課、文化の森課が担いますので、よ  
ろしく願いいたします。

当会議の議長は、稲美町総合教育会議規則第 4 条の規定により、町長が務めることになっております。また、この会議は、同規則により原則公開で議事録を作成することとなっておりますので、ご了解いただきたいと思います。

それでは、町長の方で会議の進行をお願いいたします。

古谷町長

それでは、規則に基づいて、議長を務めさせていただきたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

最初に、会議の傍聴を希望する者が1名ありますが、稲美町総合教育会議規則第9条の規定により、許可することとしてよろしいか。お諮りいたします。

一同

異議ありません。

古谷町長

ありがとうございます。それでは、稲美町総合教育会議規則第 9 条の規定に基づき、許可することといたします。傍聴人は入室してください。

(傍聴人入室)

古谷町長

それでは、平成 30 年度稲美町総合教育会議次第の 3. 協議・調整事項についてすすめてまいります。まず最初に、(1)「学校園空調設備設置事業について」の説明を事務局からお願いします。

沼田管理担当課長 (資料説明省略)

古谷町長

ありがとうございました。続いて、(2)「稲美町スポーツ推進計画(案)について」の説明を事務局からお願いします。

永田生涯学習課長 (資料説明省略)

古谷町長

ありがとうございました。「学校園空調設備設置事業について」及び「稲美町スポーツ推進計画(案)」の説明がありました。これについて、ご意見があればお願いします。

ご意見がないようですので、続いて、(3)「自由討議」に入らせていただきます。

それでは、まずは私から教育委員の皆様にお聞きしたいと思います。

西川委員、コミュニティ・スクールについてですが、これまで住民は学校の門外にいて、運動会などの学校行事のときだけ学校に入って行って、「学校は何をすところ」といった関係が続いていたように思うのですが、今は、登下校時にあいさつをしたり、夏祭りの後片付けに早朝から来てくれたりと、地域と自主的につながろうとしてくれていることはありがたいことだと思っています。今、学校は閉ざされた場所ではないということはよいことだと思いますが、どのように進んでいるのでしょうか。

西川教育長職務代理者

第2次稲美町教育振興基本計画において、基本目標の中の1つに「地域と共に育てる」を掲げています。そこで、学校、家庭、地域が連携・協働し、社会の発展に寄与する力や市民性を持った生徒の育成をめざして、「地域とともにある学校づくり」を進めるコミュニティ・スクール制度を導入しました。

初年度の本年は「学校のこと、生徒のこと」を地域に知ってもらうこと、地域に発信することに重点を置き、生徒と教職員が地域に出向いて地域の皆さんと交流することに努めてきました。具体的には、

- ① 夏祭り等の地域行事の運営への参加（満天夕涼みの会、加古ふれあい祭り、稲美冬景色）
- ② 吹奏楽部の地域ボランティア演奏や生徒会を中心とした地域清掃といった地域貢献活動
- ③ 生徒の成長を見守るとともに生徒との交流を深め、大人もともに学べることを目的とした「学びの場」の提供（コミュニティ・コーラス、パソコン教室、美術教室）

などを行ってきました。

実は、吹奏楽部の活動について、昨年8月23日、夕方から台風20号の接近が予報された日でした。午前中は少し風がありましたが快晴で、私の自治会の北新田公会堂では「いきいき広場」が実施されていきました。そこに稲美北中学校の吹奏楽部が演奏に来てくれ、1時間余り、童謡や昔懐かしい曲、演歌などを演奏し、参加者、スタッフも一緒になって大いに楽しみました。自治会出身の部員が一名、ソロで演奏してくれました。祖父母も来場され少し照れくさそうでしたが、満足げな様子でした。このように、地域に出て活動することにより生徒は地域から多くの励ましをもらい、自尊感情が大きく高まっているとともに、「地域とのつながり」、「地域の中の自分」を意識できるようになっています。

先ほど教育長の挨拶にもありましたように、昨日午後、稲美北中体育館で町内の先生方はもちろん町外の先生方や、保護者の方々などにお集まりいただき、「稲美北中学校におけるコミュニティ・スクールの取組」について研究発表がありました。最初にコミュニティ・コーラスの発表があり、その後、北谷校長先生の方からスライドを使って発表があり

ました。いろいろな取組を通じ、これまでの成果として「ふるさと意識や市民性の高まり」、「地域と繋がる力」、「多様な他者と関わる力」、「自己肯定感、自尊感情の高まり」、「当事者意識の芽生え」などが報告され、初期の目的が達成されつつあると感じました。また、今後の課題と展望については、「教職員の専門性を結びつける」、「校区小学校への広がり」、「幅広い地域人材の確保」、「地域みんなの学びの場に」などがあげられました。今後も、地域を愛する生徒を育てるとともに、地域に愛される学校をめざし、「地域の中の学校、地域とともにある学校」を合言葉に取り組んでいきます。

古谷町長

ありがとうございました。天満小学校、加古小学校も含めた稲美北中学校区にこの取組が広がっていけばと思います。

本多教育委員

今年の10月1日から消費税率が10%に引き上げられることに伴い、3歳から5歳までの子どもたちの幼稚園・保育園・認定子ども園などの利用料が無償化されます。

稲美町立幼稚園への影響はあるのでしょうか。

古谷町長

幼児教育が無償化になることに伴い、保育所や幼稚園への入園率が高くなるかどうか、高くなるにしてもどのくらい増えるのかは見えにくい部分があり、予想しづらいのが現状です。

無償化になることに伴いましては、待機児童解消に向けた保育の受け皿確保やそれを支える人材の確保など、ハード、ソフト両面での対応が求められます。特に、一昨年来保育士の不足の面は心配しています。

稲美町においては、平成30年度に母里幼稚園と天満南幼稚園で3歳児教育を開始しているところです。天満幼稚園では、3歳児教育を見据え、敷地を広げるよう整備を進める予定としております。保育所は直営がないのですが、民間と協力し合って、町内の子どもたちの保育が欠けないように施策をすすめていきます。

また、「第2期稲美町子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたり、現在、「子ども・子育てに関するアンケート」を行っており、そこに寄せられた子育て支援に関する事業の希望などを踏まえて対応していきたいと考えています。できるだけ保護者の要望に沿えるように、福祉、教育がタイアップして、誠意を持って取り組みたいと思います。

本多教育委員

ありがとうございます。

古谷町長

それでは、私の方から後藤委員にうかがいます。2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、小中学校でALTをこれまで以上に活用し、ITを使った外国語教育改革が進んでいると聞きましたが、稲美町ではどのように取り組んでおられるのですか。

後藤教育委員

今後、グローバル化が進む現代社会において、外国語によるコミュニケーション能力は、これまでのように一部の業種や職種だけではなく、生涯にわたる様々な場面で必要とされることが想定されています。また、外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や、自らの考えや意見を的確に伝える力をつけることが次期学習指導要領の中にも明記されています。

そこで稲美町では、小学校中学年の外国語授業を35時間から50時間に増やし、学級担任とALT（外国語指導講師）が協働して、児童のコミュニケーション能力の向上に努めてまいります。それを支えるための教職員研修として、英語力向上研修や大学と連携したグローバル意識UP事業研修等を行い、子どもたちと向き合っている教員の指導力向上にも取り組み、次期学習指導要領2020年度完全実施に向け、準備を進めているところです。この前、天満小学校の授業を参観したところ、英語で自分の好きなこと、趣味の話を友達に話して、相手からも聞いて、コミュニケーションを図っていました。決まったパターンだけど、実際に使って1時間かけて練習をしていました。そういった項目を1学年で30フレーズくらい、5、6年生では60フレーズになりますが、普段使う言葉の中で基本的な単語が含まれているものを覚えていけば、小学校卒業時には、かなり自分の思いを伝えることができるようになるのではないかと思います。中学校ではそれを受けて、生徒の外国語によるコミュニケーション能力の向上が図られるよう、ALTと役割分担を行い、スピーキングの授業が増えていっています。

小学校での外国語活動が先生方に負担になり、不安感もあるのではと心配していました。そういう意味でも、先日の天満小学校の研究発表で、若い先生方が自分の発音に自信を持たれ、率先して授業をされている姿を見て、たいへん喜ばしいことだと思いました。先生方がこれから必要な能力の一つとして、積極的にコミュニケーションが取れる子どもたちを育てていくことに取り組まれているのを見て、これまでの委員会としての取組や努力が実っていることを実感し、心強く思っております。新指導要領の中にもこうした外国語指導の体制を確立していくことが謳われていますので、これまでの方針を継続し、さらに指導力の向上を図って備えていきたいと思っております。以上です。

古谷町長

ありがとうございました。自分たちが習った頃とは大きく様変わりして、ALTに対して外国語という意識や抵抗もなく接することができ、コミュニケーションの力、会話能力

をつけていくことがこれからの英語教育のあり方だと実感しています。

後藤委員

高校入試にリスニングが導入される以前の外国語教育は、英文読解、文法、英作文が中心で音声は関係なしということで、せっかく英単語、フレーズを覚えても、使うことをしていませんでした。大学入試段階で単語が4000語から8000語頭の中に入っている、それをただ使えばよいだけなのです。英語を使う環境におけば、頭の中の知識が会話によって引き出され、活性化され、半年で話せるようになります。これまでの日本の外国語教育は、持っているだけで使わず、宝の持ち腐れになっている人が多かったように思います。

古谷町長

言葉というのは、その環境の中に置かれると、自然に身についていくものですね。たとえ言葉が通じなくても、伝えようとする気持ちがあればコミュニケーションが取れることもあります。外国語教育についても、専門的なことはわかりませんが、積極的にコミュニケーションを取ろうとする気持ちを育てていくことが大切だということですね。

後藤委員

外国語教育の目的が、外国の文献を読み、考え、知識を取り入れるというところから出発し、外国の人と接し、積極的にコミュニケーションを取る手段を身に付けるという方へ、ようやく舵をきったところです。

北口教育委員

私も身内に一人外国人がいて、自分では会話をしているつもりなのですが、ほとんど伝わっていなかったという経験があります。相手の話を聞くこともとても難しいです。私も先日の天満小学校の外国語の授業に参加しました。参観者である我々に子どもが質問してくるのですが、僕に質問してきたのが、外国の子どもでした。日本の小学校で外国の子どもが英語を学習し、日本人の私に質問をしてくる、そういうコミュニケーションが日常茶飯事になってくる時代なのですね。

質問が変わります。昨年の災害級の暑さを経て平成31年度に臨時特例交付金を利用して、幼稚園と小中学校に空調設備を設置していただけるということで、驚くと同時にたいへん感謝しているところです。子どもたちの喜ぶ顔が見えるようです。今後の教育活動や地域連携等、さまざまな場面での活用が期待されます。

しかし、日本全国の学校で工事が同時に行われるので、工事施行業者、エアコンの機器の有無、工事施工期間や事業者の確保等いろいろ大変だと思われそうですがどうですか。

古谷町長



通常、大規模改造工事ですと、6月議会での契約議決を経て夏休みに工事をするのですが、今回の空調設備の設置につきましては、1月に臨時議会をお願いし、工事費に関する補正予算を議決いただいております。来月の3月議会で、まずは中学校の契約議案の議決を進める予定としております。その後、幼稚園、小学校も引き続いて入札の手続きを進めていくこととしております。

全国的に見ても、早く設置する方向で各市町村が動いている中、業者や工事に係る材料の不足も心配されているところですが、子どもたちの教育環境の整備のために予算の計上や契約をできるだけ早くし、業者を確保したうえで設置にかかっています。子どもたちの教育の充実は、稲美町の未来をつくるものだと考えています。

北口教育委員

ありがとうございました。

古谷町長

外国語教育について等、大変有意義な意見交換ができました。ありがとうございました。それでは、次第4.その他に移りたいと思います。

(1) 「第2次稲美町教育振興計画（大綱）にかかる点検評価報告書について」の説明を事務局からお願いします。

宇城人権教育課長 (資料説明省略)

古谷町長

「第2次稲美町教育振興計画（大綱）にかかる点検評価報告書について」の説明がありました。

これについて、ご意見があればお願いします。

ご意見がないようですので、続いて(2)「次回の開催予定について」の説明を事務局からお願いします。

田口企画課長

昨年度からこの会議については、基本的に年1回の開催とし、重大事件等が発生した場合は、随時の開催とすることとしております。

よって、次回の開催期日については、来年の2月を考えております。正式に日程等が決まりましたら、町長、教育委員の皆様方にお知らせすることとしたいと考えています。

古谷町長

次回の会議の開催についての説明がありました。

これについて、ご意見があればお願いします。

ご意見がないようですので、次回の総合教育会議は、来年の2月に開催いたします。詳細な日程は、事務局の方で調整してください。

その他、委員の皆様方や事務局を含めて何かありましたらお願いします。

松田教育政策部長

先ほど町長からも一部話題に上がりました平成31年度の教育委員会の主要施策の詳細については、タブレットの導入等を含め、この後の定例教育委員会でご説明させていただきます。以上でございます。

古谷町長

他にご意見がないようですので、以上で稲美町総合教育会議を終了いたします。ありがとうございました。